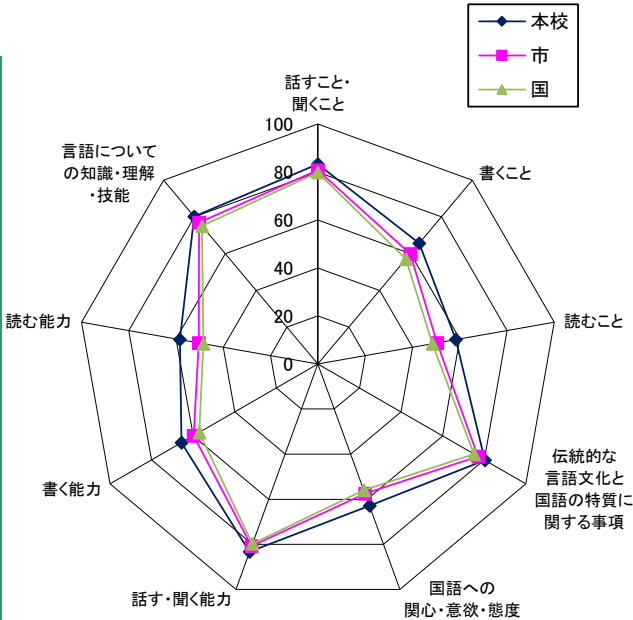


宇都宮市立星が丘中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	83.3	80.8	79.8
	書くこと	65.6	59.8	57.1
	読むこと	58.4	50.4	48.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.3	77.0	75.1
観点	国語への関心・意欲・態度	62.9	57.5	56.0
	話す・聞く能力	83.3	80.8	79.8
	書く能力	65.6	59.8	57.1
	読む能力	58.4	50.4	48.5
	言語についての知識・理解・技能	80.3	77.0	75.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○領域の正答率は83.3ポイントで、全国平均を3.5ポイント上回っている。特に話し合いの話題や方向を捉えること、質問の意図を捉えることでは、正答率が9割を超えている。 ●「参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く」の正答率は全国平均を3.7ポイント上回っているものの、話し合いの内容を捉えて話す内容を考える力に課題が見られる。	・話し合いの内容を捉えて話す内容を考える力を養うため、スピーチや討論、グループでの話し合いなど多様な音声言語の学習を取り入れる。また、今後も聞き取りテストを継続して行い、話の要点を的確に把握できるように指導していく。
書くこと	○領域の正答率は65.6ポイントで、全国平均を8.5ポイント上回っている。特に「意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く」では、正答率が83.8ポイントで、全国平均を9.3ポイント上回っている。 ●「意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する」では、正答率が31.3ポイントで、全国平均を6.5ポイント上回っているものの、段落の相互関係への理解が低く誤答率が高くなっている。	・説明的な文章を読む際に、段落同士のつながりを意識させるために、指示語の指示内容を確認させることや、主語や修飾語が省略されている部分に着目させる活動を取り入れていく。 ・自分の意見とその根拠をつなぐ接続表現や文末表現を、文章を書く際に意識させる。
読むこと	○領域の正答率は58.4ポイントで、市平均を8.0ポイント、全国平均を9.9ポイント上回っており、特に文章中からの書き抜く問の正答率は8割を超えている。 ●すべての設問において、全国平均より上回っているものの、「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」では、正答率が25.4ポイントと低い数値になっており、無解答率も15.8ポイントと高くなっている。	・様々な文章を読み、構造と内容の把握を丁寧に行う力を身に付けさせていく。その上で、理解・解釈したことに対し自分の意見をもてるよう、文学作品の学習の最後に自分の考えを話し合わせる時間をとる。また、朝の読書活動や本の紹介を通して、文学的文章に多く触れさせる機会をつくる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○領域の正答率80.3ポイントで、全国平均を5.2ポイント上回っており、特に漢字の読み書きでは正答率が9割を超えている。 ●敬語の正解率が55.8ポイントで、全国平均を15.5ポイント超えているものの誤答率が高い。また、特別な動詞を使う表現での正答率は51.3ポイントとなっており、適切な敬語を使用することに課題が見られる。	・漢字の読み書きに関しては、漢字テストを継続して行うとともに、文や文章の中で使用する力を養っていく必要がある。 ・敬語の小テストを定期的に行い、基礎的な知識を身に付けるとともに、普段の生活においても、目上の人との会話で敬語を意識的に使うように指導し、適切な敬語の使用を促していく。